



パパママ同士の交流や こどもたちの輪を拡大!

親子でつながる

市内には「親子交流イベント」や「こども食堂」を運営し、育児を支える団体が数多く活動しています。今回は、そのうちの3団体に日頃の活動への想いを伺いました。

こどもの居場所いろいろ

ふるまち商店街でこどもたちを中心とした居場所をつくり、手作りのご飯を囲むこども食堂のほか、フリースクールや地域の企業と連携した職業体験等を行っています。こどもも大人も自由に自分らしくいられる場づくりを目指しています。

☆活動のきっかけ

「病気や障がい・経済的な事情等がこどもたちの体験や学びの格差につながらない社会を創りたい」という理念から活動を始めました。

「こどもたちが自由に、自分らしく育つ環境づくり」を目指し、現役のこどもも、かつてこどもだった大人も、誰もが安心して自分の気持ちを伝え合える場が必要であると考えたことがきっかけです。

まちの多様な人々が関わり、それぞれの得意なことを生かしながら、子育て世代に楽しく伴走し、支え合える地域を目指して歩みを進めています。

☆直方市のみなさんに一言!

まちの多様な人々が関わり、得意なことを生かしながら、しんどい時こそ頼れる場でありたいと思っています。「どこに相談したらいいかわからない…」そんな時こそいろりに声をかけてください。

お子さんやご家庭の状況に合わせて、必要な場所、人等のサポートに繋がるよう一緒に考えます。



▲代表の辻 千恵さん



「こどもの居場所いろいろ」の
詳細は以下のQRコードからご確認ください



▲Instagram



▲こどもの居場所いろいろ
ホームページ

check!

こども食堂とは?

問 直方市社会福祉協議会 ☎23-2551

「こども食堂」とは、ボランティア団体やNPO法人、地域の店舗等が、こどもやその保護者に対して、無料または安価で食事や温かな団らんを提供する場所です。

また、こどもやその保護者に限らず、地域の人も含めて対象としている場や、こどもたちへの体験活動や保護者の子育て支援に取り組むところもあります。

単に食事を提供するだけではなく、みんなの居場所として、また、地域の人々とのつながりの場としての役割も期待することができ、現在、その活動は市内にも広がっています。



▲市内のこども食堂の紹介

pick up!

おもちゃ図書館のおがた

問 直方市社会福祉協議会 ☎23-2551

おもちゃ図書館のおがたとは、障がいのあるこどもも、無いこどもも、どんなお子さんでも一緒に遊んで交流できるスペースとして、2008年にオープンしました。

おもちゃは、遊びを豊かにする道具ですが、なかなか上手に遊ぶことができなかったり、興味を示さないお子さんもいます。そうしたお子さんに沢山のおもちゃを用意して、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ「場所」と「機会」を提供しています。また、家庭でも楽しく遊べるよう貸出しもしています。バリアフリートイレや駐車場も完備していますので、是非一度遊びにお越しください♪ボランティアスタッフも募集中です。

時 毎週土曜日 午前10時～正午、午後1時～3時※年末年始、盆、祝日はお休み

貸出 1人2点まで※団体は10点まで(要予約)、期間は2週間まで

所 直方市保健福祉センター ゆずりあ 2階



▲おもちゃ図書館のおがた
パンフレット

わたしの秘密基地

市内を巡回して月1回、あえて場所を固定しない巡回型こども食堂やイベントを開催。孤立しがちな育児の不安に寄り添い、地域全体で気軽に頼れて、支え合える環境づくりに取り組んでいます。

☆活動のきっかけ

代表の與古光真衣子さんが育児で疲弊していた際、こども食堂に救われた経験が活動の原点です。「あの安心感を地域に返したい」という強い想いから、もう一人の代表である田中友理さんと活動を始めました。こどもが主役として楽しめるだけでなく、日々の育児に奮闘する保護者も一緒にワクワクし、親子で笑顔になれる温かい場所を目指しています。誰もがほっと一息つける居場所です。



▲共同代表の與古光さん(左)、田中さん(右)

☆直方市のみなさんに一言!

私たちの思いは「子育てをもっとオモロク!」です。市に住む親子と一緒に、ワクワクできる毎日を過ごしたいと考えています。ぜひ私たちとたくさんの思い出を作りましょう!子育ては大変なことも多いですが、一人で抱え込まずに、まずは遊びに来てください。

誰もがほっと安心できて、みんなの笑顔が広がる楽しい場所を、これから皆さんと一緒につくっていききたいです。スタッフも募集しています! Instagramにてぜひご連絡ください!!



「わたしの秘密基地」の
詳細は以下のQRコードからご確認ください



▲Instagram



▲問い合わせフォーム

七星の会

多世代が交流し、互いの個性を尊重し合える居場所づくりを目指す「七星の会」。こどもたちにとって親でも先生でもない、地域の人々との安心できる「ななめの関係」を大切に活動しています。

☆活動のきっかけ

活動の原点にあるのは、「若いこどもたちには、本音で向き合える大人の存在がやはり必要である」という強い思いです。親でも先生でもない地域の大人がじっくりと話を聞き、寄り添うことで、若者やこどもたちが抱える悩みを早期に和らげたいと考えたことがきっかけでした。

「同じ熱い思いを持つ仲間たちと手を取り合い、親子がともに安心して本音をこぼせる温かい居場所をつくりたい」といった純粋な願いから、「七星の会」の歩みはスタートしました。

☆直方市のみなさんに一言!

私たちは、世代の枠を超え、どんな人でも気軽に集える温かい場所を目指しています。学校や家庭で少し疲れてしまったとき、誰かに話を聞いてほしいとき、いつでもここへお越しください。障がいのある方も含め、誰もが持つ個性や特性をそのまま尊重し、優しく包み込むコミュニティでありたいと思っています。直方にお住まいのすべての世代の皆さん、まずは肩の力を抜いて、お気軽に遊びに来てくださいね。



「七星の会」の
詳細は以下のQRコードからご確認ください



▲Instagram



▲「こども食堂」の準備をする七星の会の皆さん